

第 42 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	阿萬ゼミⅡ	チーム名	お弁当市場研究班
タイトル	お弁当市場		
テーマ群	e) 産業・企業		
メンバー	秋吉直輝 安藤貴史 岩田健二郎 岸昭平 城村薫 田口雄大 田中彩加 増山大樹 徳田耕也		
研究計画内容	<p>本研究の目的は、現代の日本における弁当市場（販売弁当と手作り弁当含む）の発展要因を解明することにある。</p> <p>まず、弁当市場（店舗で購入する弁当、冷凍食品、弁当容器など）に対して、海外との比較を交えながら、日本固有の弁当文化の歴史や市場規模などの全体像を把握する。これまでの発展がどのように行われてきたのかを研究することで、現在の弁当市場がどのように成り立ってきたのかをおおまかに捉える。</p> <p>次に大きく二つに分けて、供給者側および消費者側の 2 つの視点から研究する。</p> <p>第一のサブテーマとして、供給者側からの視点では、企業インタビューを行うことで、企業のターゲットとする消費者層、商品の特徴、他企業との競争状態を聞き取り調査し、企業の販売戦略や外部環境が、どのように弁当市場の発展に寄与しているかを考察する。</p> <p>第二に、消費者側からの視点では、実験的な手作り弁当の作成、次いで、主に大学生を対象としたアンケート調査を実施する。弁当作成においてはゼミ生自らが朝早く起き、料理や支度、片づけを行うことから弁当の利便性を考察し、アンケートでは、金銭的側面、時間的側面からの機会費用を考え、栄養バランスなどを計測し、経済学的な視点から、販売弁当と手作り弁当に対する、便益・コストを明らかにすることを目的とする。</p> <p>供給者側・消費者側からのアプローチで、企業側と消費者側との弁当に対するミスマッチや新たな需要の存在があるのかを研究し、今後の弁当市場の展望を見出し、学生に対して「すぐれた消費行動とは」という提案を行う。</p>		